

■関連資料 契約について学ぼう

■契約とは

私たちは毎日の生活の中で、意識していなくても様々な「契約」をしています。契約とは「法的責任」を伴う約束のことで、一度成立すると法律上の権利と義務が発生します。

契約には、店でものを買う(売買契約)、家を借りる(賃貸借契約)、バスや汽車、電車に乗る(運送契約)、電話を利用する(通信サービス利用契約)など様々なものがあります。

例えば、売買契約は、商品の売主の「売りたい」という意思と買主の「買いたい」という意思が**合致したとき**、つまり**お互いが合意したときに成立**します。



〈売買契約の成立の仕組み〉



お互いに法律上の権利と義務が生じる。一方的にやめること(返品など)はできない^①。

消費者には、販売者に商品の代金を支払う義務、商品を受け取る権利
販売者には、消費者に商品を引き渡す義務^②、商品の代金を受け取る権利

- ①一方的にやめることはできませんが、「レシートがあれば」「1週間以内であれば」など、一定の条件で返品できる場合があります。この場合は店や商品によって違うので、確認するようにしましょう。
- ②引き渡した商品や表示、販売方法に問題があるなど、販売者が義務を果たしていない場合は返品できます。

- ◎一旦、成立した契約は、自分の都合で勝手にやめることはできないのが基本なので、いつ、どのように契約が成立するかが重要になります。
- ◎私たちは、すべての買物で契約を結んでいます。買物では、契約の前に商品の必要性をよく考え、価格や品質など情報収集をしておくことが大切です。

■契約書とは

契約の金額が高額、あるいは契約内容が複雑な場合には、契約書を作ります。書面にした方が内容をはっきり確認することができ、「言った」「言わない」などのトラブルも少なくなるからです。一方、その場で商品の引き渡しと代金の支払いが完了する場合は、契約書が作成されることはほとんどなく、レシートが契約のしるしとなります。

